

ルータで無効なコマンドを入力した後のドメイン変換メッセージの防止

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ホストから IP アドレスへの変換](#)

[「Translating」メッセージが表示される理由の理解](#)

[ユーザ モード](#)

[Enable Mode](#)

[ホストから IP アドレスへの変換機能の無効化](#)

[確認](#)

[関連情報](#)

はじめに

このドキュメントでは、無効なコマンドの入力後にルータに表示されるドメイン変換メッセージについて説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco IOS®コマンドラインインターフェイス(CLI)に精通していること
- ドメインネームシステム(DNS)に関する基礎知識

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

表記法

表記法の詳細については、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

ホストから IP アドレスへの変換

「Translating」メッセージが表示される理由の理解

デフォルトでは、ユーザモードまたはイネーブルモードでルータにコマンドが入力され、このコマンドまたは入力が認識されない場合、ルータは、これがユーザがTelnet経由で到達しようとしているデバイスのホスト名であると認識します。したがって、ルータはIPドメインルックアップを使用して、認識できないコマンドをIPアドレスに解決しようとします。ルータに特定のドメインサーバが設定されていない場合、ルータはコマンドをIPアドレスに変換するためにブロードキャストを発行し、コンソールに「Translating..... domain server (255.255.255.255)」というメッセージが表示されます。ルータがドメインネームシステム(DNS)ブロードキャストに対する応答を待っている間、ルータのプロンプトが使用可能になるまで数秒かかることがあります。

 **注:** vty/con/aux回線で transport preferred none コマンドを使用することもできます。これにより、ルータが無効なコマンドをIPアドレスに解決しようとする試みを防止できます。DNS情報は、他のコマンドの出力で使用できます。ただし、ルータからtelnetセッションを開始する必要がある場合は、ホスト名の前に telnet キーワードを配置します。これは、ホスト名を入力してもルータが自動的にtelnetしないためです。必ず ip name-server コマンドを使用して、ネームサーバのアドレスを指定します。

次の例は、入力が認識されない場合のルータの一般的な動作を示しています。この動作は、ユーザモードとイネーブルモードの両方で動作している間に見られます。

ユーザ モード

<#root>

R1>

xxxxx

```
Translating "xxxx"...domain server (255.255.255.255)
(255.255.255.255)
Translating "xxxx"...domain server (255.255.255.255)
% Unknown command or computer name, or unable to find computer address
R1>
```

Enable Mode

<#root>

R1#

xxxxx

```
Translating "xxxx"...domain server (255.255.255.255)
(255.255.255.255)
Translating "xxxx"...domain server (255.255.255.255)
% Unknown command or computer name, or unable to find computer address
R1#
```

ホストからIPアドレスへの変換機能の無効化

「Translating..... domain server (255.255.255.255)」というメッセージが表示されないようにするには、無効なコマンドをIPアドレスに解決しようとするルータのデフォルト動作を無効にする必要があります。この機能をディセーブルにするには、グローバルコンフィギュレーションモードで **no ip domain lookup** コマンドを入力します。



注：古いCisco IOSリリースでは、コマンドの構文は**no ip domain-lookup**でした。

確認

ドメインルックアップが無効になっていることを確認するには、ユーザモードまたはイネーブルモードでルータに未知のコマンドを入力します。ユーザは、DNSブロードキャストを発行せずに、すぐにルータプロンプトを受信します。ランダムデータの例は次のとおりです。

<#root>

R1#

xxxx

% Unknown command or computer name, or unable to find computer address
R1#

関連情報

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。